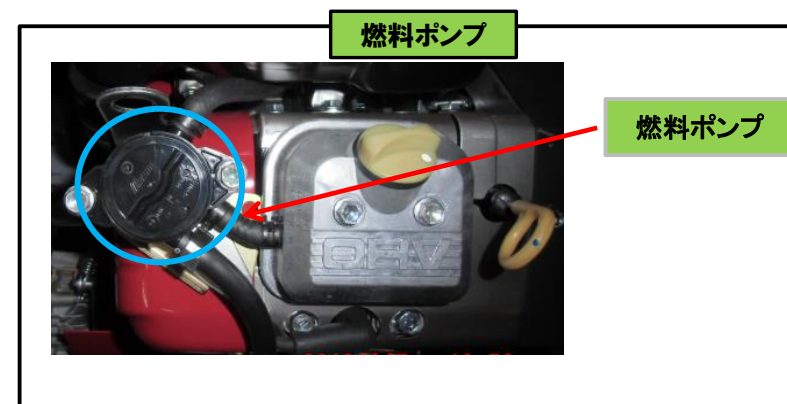
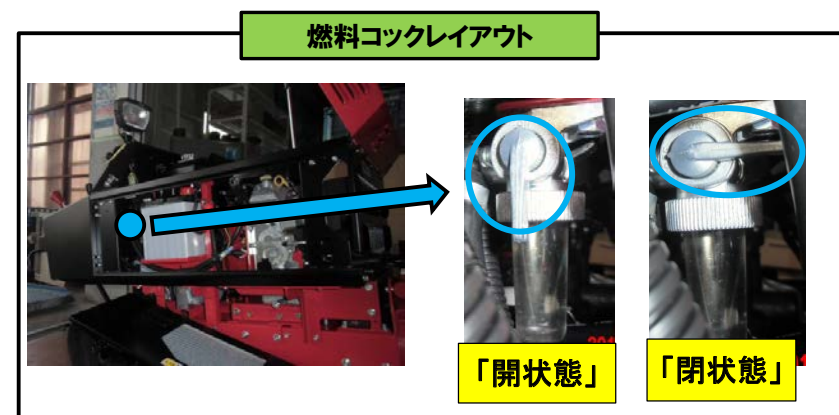
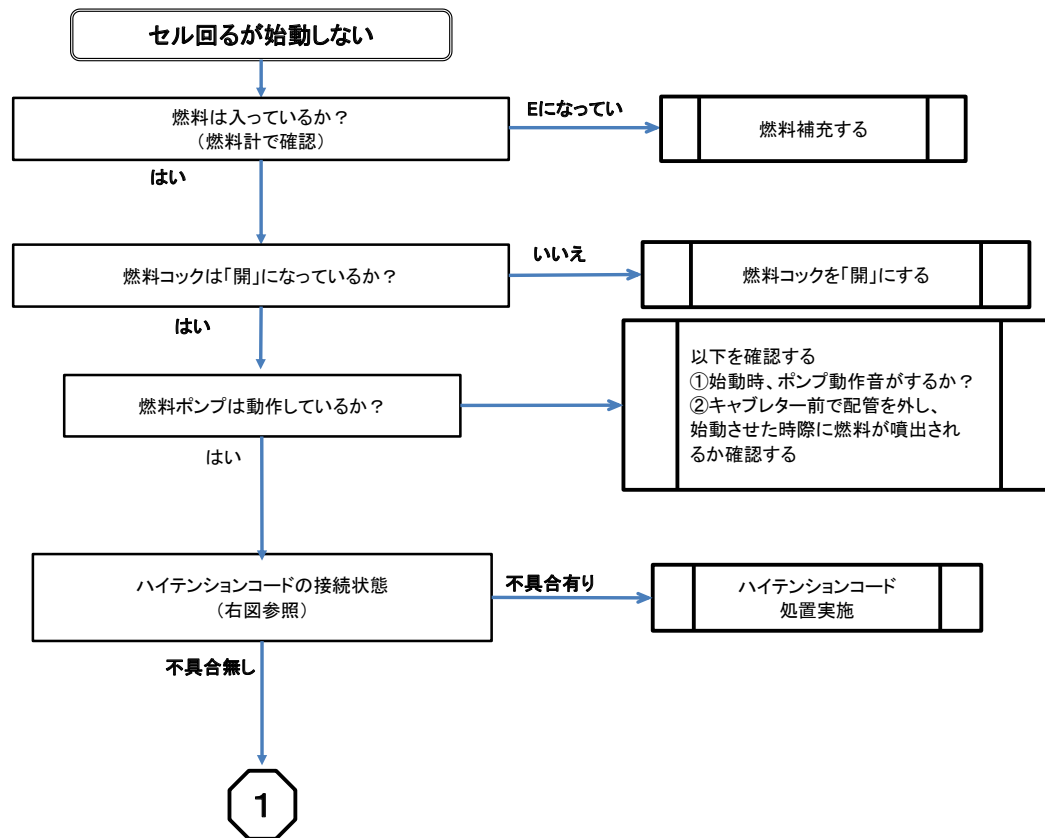


エンジン始動異常(セル回るが始動しない) 機種:10-18G/10-22G



エンジン始動異常(セル回すが始動しない) 機種:10-18G/10-22G

1

チョークをめいっぱい引いた状態でエンジンを回す。その後エンジンプラグを取り外して電極の状態を確認する。
判定1: 電極が濡れている場合は燃料供給系は問題無し。
判定2: 乾燥している場合には燃料が供給されていない可能性があるため、フロート確認～インジェクション回り迄燃料供給系を調査する事

判定2の場合

キャブレターに不具合の可能性があるため、各エンジンマニュアルに記載のキャブレターの項目を参照し対応して下さい。

外したプラグをエンジンのボディーに接触させた状態でクランキングさせて、スパークの有無を確認する

スパークする

- ①スパークプラグの緩み
- ②シリンダヘッドボルトの緩み
- ③シリンダヘッドガスケットの吹き抜け
- ④バルブクリアランス不良

スパークしない

スパークプラグを別の物と交換しエンジンボディーに接触させ、クランキングしてスパークするか確認。

スパークしない

スパークする

プラグをエンジンに取付け始動するか確認する。

グランドワイヤーミナルを外して再度スパークの有無を確認

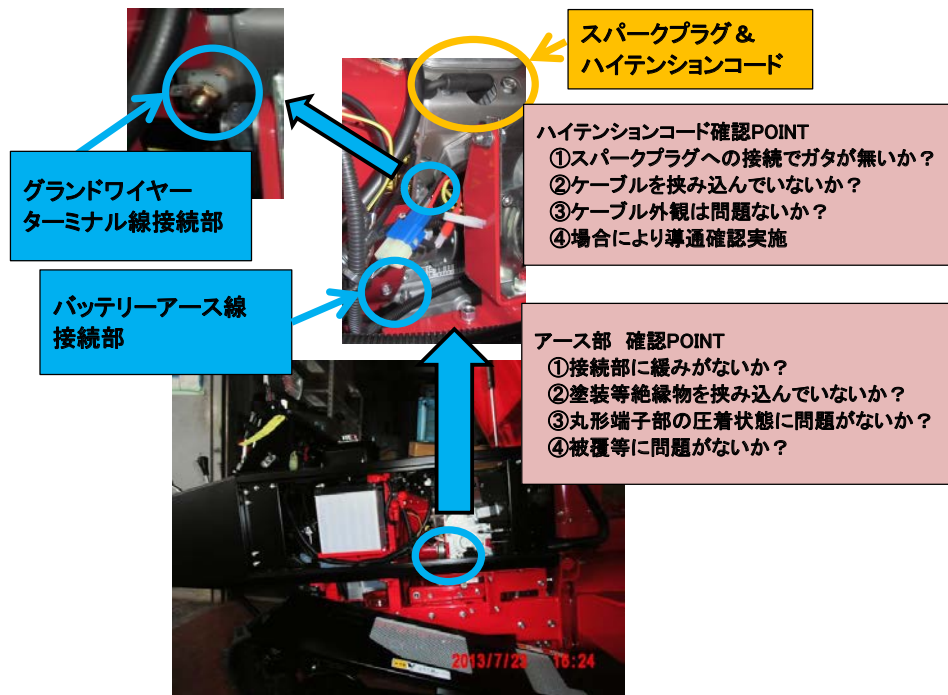
スパークする

グランドワイヤーミナルがエンジンに接触している箇所を調査・対処する。
(キースイッチ側も確認)

スパークしない

- 以下を確認し、場合により処置実施。
- ①フライホールキーの切断
 - ③アマチュアエアギャップが広すぎる
(適正値0.2～0.3mm)
 - ④アマチュアコイルの断線

アース線接続箇所と確認内容



スパークプラグ電極状態確認

電極部の状態を確認し、燃焼室内の燃焼状態を推測する。

- (1) 極端に白い場合: 下写真 A 状態
 - ①混合気が薄い ②過負荷状態 ③オーバーヒート状態
- (2) 適正な状態: 下写真 B 状態
- (3) 黒くカーボンが付着(濡れている)場合: 下写真 C 状態
 - ①混合気が濃い ②エアクリーナーの詰まり ③電極部GAPが広すぎ

